

「近現代住宅建築の文化的活用・発信事業」の 活用住宅及びプログラムの概要について

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京は、東京都とともに、文化的価値の高い都内の近現代住宅建築を公開や展示などを通じて活用し、その魅力を広く発信することで、保存・継承につなげる「近現代住宅建築の文化的活用・発信事業」を実施します。

本事業では、公募により選定した3団体と連携し、それぞれ3つの住宅建築において、建築の特色を生かした公開・展示などのプログラムを展開します。これらの取組を通じて、多くの方に近現代住宅建築の魅力や文化的価値に触れていただく機会を創出し、理解と関心を深めます。

今年度は、特定非営利活動法人玉川まちづくりハウス、株式会社キーマン、公益財団法人国際文化会館の3団体と連携して取り組みます。対象となる3つの住宅建築や活用事業の概要は、以下のとおりです。

なお、各事業の詳細や実施時期については、決定次第、各運営団体のウェブサイト及び本事業のウェブサイト等でお知らせします。

数江家住宅（事業運営：特定非営利活動法人玉川まちづくりハウス）

所在地：東京都大田区

1939年竣工。ヴォーリズ建築事務所の松ノ井覚治が設計した和風住宅です。スパニッシュ様式と数寄屋造が融合した意匠と、本格的な茶室を備えた空間構成が特徴で、国登録有形文化財に登録されています。

■ 活用事業（予定）

子供の和室体験会、見学会＆茶会、
外国人のための茶席体験、
展示：日本の椅子



photo: 須藤史朗

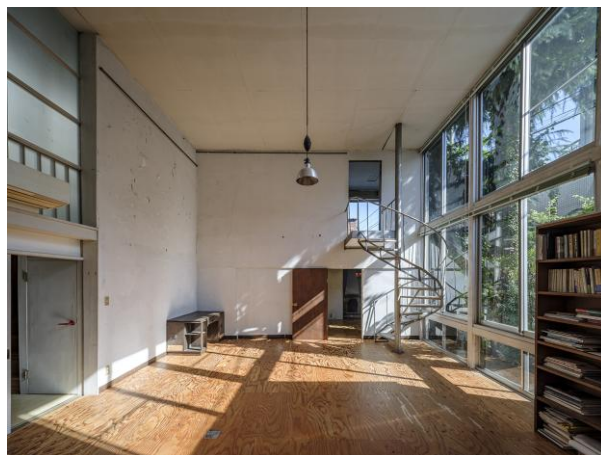
三岸家住宅アトリエ（事業運営：株式会社キーマン）

所在地：東京都中野区

1934年竣工。建築家・山脇巖が画家・三岸好太郎・節子夫妻のために設計したアトリエ兼住宅です。日本初期のモダニズム建築を代表する作品として高く評価され、国登録有形文化財にも登録されています。

■ 活用事業（予定）

三岸アトリエ特別公開、水墨画・色墨ワークショップ、三岸アトリエ オープニング継承イベント、三岸アトリエ資料アーカイブ化・発信



©三岸アトリエ photo：千葉正人

花小金井の家（事業運営：公益財団法人国際文化会館）

所在地：東京都小平市

1983年竣工。建築家・伊東豊雄が設計した住宅で、初期の代表作の一つです。自然光を取り込む開放的な空間と、都市住宅の新たなあり方を模索した建築思想を伝える貴重な住宅建築です。

■ 活用事業（予定）

建物公開、特別対談会、展示



photo: Tomio Ohashi

<クレジット>

主催 東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京

<本リリースに関するお問い合わせ>

公益財団法人東京都歴史文化財団
アーツカウンシル東京
広報担当：関次 柳生
TEL：03-6256-8432
E-mail：press@artscouncil-tokyo.jp